


## 菅原神社眼鏡橋



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	すがわらじんじゃめがねばし
所在地	笠岡市吉浜
指定年月日	平成13年3月23日
解説	菅原神社参道の池に架かる橋長11.2m、全幅3.4m、高さ約3mの花崗岩製アーチ橋で、明治20年(1887)、地元の石工棟梁佐藤豊吉(豊造)が完成させ、その形状から眼鏡橋と呼ばれている。アーチの側壁は花崗岩の切石を石垣状に組み上げ、アーチ部分の楔形の迫石[せりいし]と壁石を一体化させた珍しい構造となっている。また、水面下でも弧をえがく全円アーチ橋は全国的にも稀有である。
アクセス方法	井笠バス「吉浜」バス停から徒歩1分、JR笠岡駅から車で約10分
公開状況	外観のみ
設備	 駐車場
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要文化財(建造物)
ぶんかざいめい (文化財名)	菅原神社眼鏡橋
よみかた	すがわらじんじゃめがねばし
しょざいち (所在地)	笠岡市吉浜
していたひ (指定した日)	平成13年3月23日
せつめい	明治(めいじ)20(1887)年(ねん)につくられた県内(けんない)でただひとつのアーチ橋(きょう)です。水面(すいめん)の下(した)も弧(こ)を描(えが)く全円(ぜんえん)アーチ形(がた)は全国的(ぜんこくてき)にも珍(めづら)しいものです。